

## 4地域における断熱材の厚み

### 木造住宅「外張断熱工法」の場合の断熱仕様例

■ 建築物省エネ基準の基準値（UA値、 $\eta A$ 値）

（＝日本住宅性能表示制度「断熱等性能等級4」を満足する仕様例です。）

			地域区分
			III 4地域
外皮平均熱貫流率	$W/m^2 \cdot K$	UA 値	0.75
外皮平均日射取得率	-	$\eta A$ 値	-
スタイロエース-Ⅱ <sup>※1</sup> ( $\lambda = 0.028W/m \cdot K$ )	屋根	厚さ (mm)	65
	桁上		65
	壁		65
	外気に接する床		65
スタイロフォーム FG <sup>※1</sup> ( $\lambda = 0.022W/m \cdot K$ )	屋根	厚さ (mm)	50
	桁上		50
	壁		50
	外気に接する床		50
スタイロフォーム AT (防蟻断熱材)	基礎	厚さ (mm)	50
開口部 (仕様例)	窓 <sup>※2</sup>	種類 (例)	(一重) 金属製・プラスチック (木) 複合構造製
		ガラスの 日射侵入率 ( $\eta$ )	Low-E 複層ガラス (A5 以上 A10 未満) 日射取得型 (0.64)
		熱貫流率 U ( $W/m^2 \cdot K$ )	3.49
	ドア <sup>※3</sup>	種類 (例)	金属製 扉：断熱材充填 フラッシュ構造 枠：熱遮断構造
		熱貫流率 U ( $W/m^2 \cdot K$ )	3.49
	開口分面積比率 (開口部 / 延べ床面積) の目安		

※1 スタイロエース-Ⅱ、またはスタイロフォーム FG のどちらかの仕様を選択してください。

※2 ブラインド等の付属なし。窓の種類は参考例です。  
熱貫流率 3.49 ( $W/m^2 \cdot K$ ) 以下の仕様の窓を選定ください。

※3 ドアの種類は参考例です。  
熱貫流率 3.49 ( $W/m^2 \cdot K$ ) 以下の仕様のドアを選定下さい。

## 導入できる設備仕様例

■ 建築物省エネ基準（＝日本住宅性能表示制度「一次エネルギー消費量対策等級4」）、  
 ならびに、低炭素建築物認定基準（＝日本住宅性能表示制度「一次エネルギー消費量対策等級5」）を満足する仕様例です。

外皮	通風（自然風） の利用	主たる居室	換気回数0回/hr相当以上
		その他の居室	換気回数0回/hr相当以上
	蓄熱の利用		利用なし
暖房設備	主たる居室/ その他の居室		FF暖房機
		熱源機の種類	間歇運転
	定格能力/消費効率	86%	
冷房設備	主たる居室/ その他の居室		高効率ルーム エアコンディショナー
			間歇運転
	消費効率	区分(ろ)	
換気設備	換気方式		ダクト式 第3種 (換気回数0.5回/hr)
	比消費電力		0.3W/(m <sup>3</sup> /h)
給湯設備	熱源機	種類	石油給湯器
		JIS効率	81.3%
	ふろ給湯器		追焚あり
	給湯配管方式		・給湯ヘッダー方式 ・分岐後の配管径：13A以下
	台所水栓		・2バルブ以外の水栓 ・手元止水機能 ・水優先吐水機能
	浴室シャワー		・2バルブ以外の水栓 ・手元止水機能
	洗面水栓		・2バルブ以外の水栓 ・水優先吐水機能
	浴槽の断熱		高断熱浴槽
太陽光利用		なし	
照明設備	主たる居室		・全て白熱灯等以外の器具 ・多灯分散照明なし ・調光可能な制御なし
	その他の居室		・全て白熱灯等以外の器具 ・調光可能な制御なし
	非居室		・全て白熱灯等以外の器具 ・人感センサーなし
太陽光発電			なし (選択可だが「なし」でも適合の可能性あり)
コージェネレーション			なし (選択可だが「なし」でも適合の可能性あり)

※設備等は標準的な仕様とする。(任意に変更可能)

断熱厚みは推奨で個別認定を取得したものではありません。

本結果は計算モデルに則った結果であり、実際のプランによって結果が異なることがあります。採用に当たっては個別に計算が必要となります。